

## 東京海上日動のクラウドユーザー向けサイバーリスク保険を マルチクラウド基盤に無料で自動付帯するサービスを JIG-SAW が国内で初めて提供開始

JIG-SAW 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：山川真考、東証マザーズ、以下 JIG-SAW）は、東京海上日動火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北沢利文、以下東京海上日動）と連携し、JIG-SAW を通して契約するマルチクラウド基盤契約に（国内外主要クラウドご利用のユーザー様向けに一括で）、セキュリティ事故に対する保険を自動的に付帯する「クラウドユーザー向けサイバーリスク保険自動付帯サービス」を国内で初めて、2017年3月21日（火）より開始いたします。

### ■「クラウドユーザー向けサイバーリスク保険自動付帯サービス」の開発の背景

現在、情報システムのデータは、企業の事業運営における必要不可欠なものとなります。しかし、情報システムのデータに対するセキュリティ犯罪や事故はあとを絶たず、被害件数、被害金額は拡大を続けています。

また、製造業を中心とした産業の IoT のセンサーやデバイス類からインターネットを通してクラウドへの大量データが転送されるため、より一層のセキュリティ対策が企業の課題となっています。

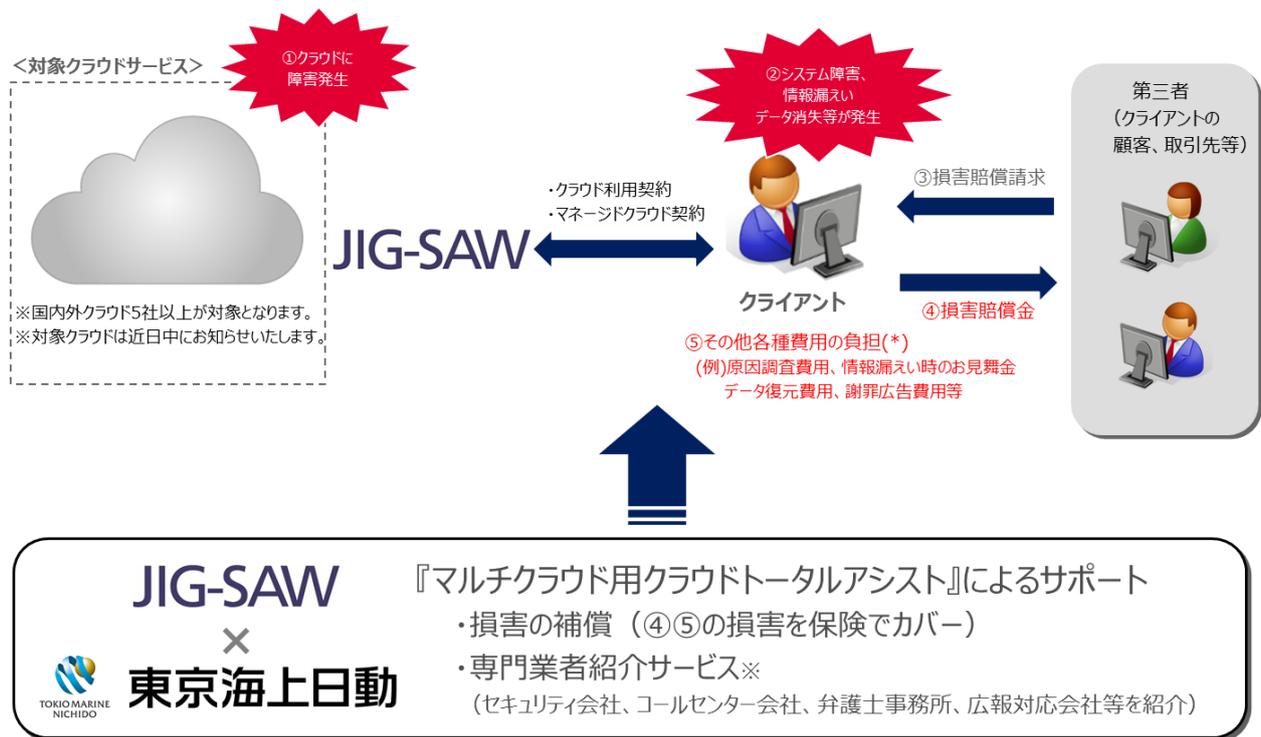
### ■「クラウドユーザー向けサイバーリスク保険自動付帯サービス」の概要

JIG-SAW が提供するマルチクラウド基盤（国内外主要クラウド5社以上）を通じたマネージドクラウド契約全てに東京海上日動が提供する「クラウドユーザー向けサイバーリスク保険」が付帯されます。本保険によって、クラウドユーザーがコントロールできないインシデントが万が一発生した際に、第三者への損害賠償金や弁護士費用を補償いたします。

### ■ビジネス目標とスケジュール

2017年度3月21日（火）よりサービス提供を開始し、2020年度までに1000社の導入・契約を目標としております。

## ■クラウドユーザー向けサイバーリスク保険と JIG-SAW の連携イメージ



## ■マルチクラウド対象サービス

国内外主要クラウド5社以上が本サービスの対象となります。近日中に対象クラウド社名をお知らせいたします。※なお、対象クラウドは、今後継続的に追加され、より多くのクラウド基盤への自動適用を予定しております。

## ■東京海上日動火災保険株式会社からの賛同コメント

東京海上日動火災保険は、このたび JIG-SAW 様と協業することで合意いたしました。JIG-SAW 様がお客様へご提供されるマネージドクラウドサービスに、弊社のクラウドユーザー向けサイバーリスク保険が自動付帯されます。豊富なクラウド運用実績を持つ JIG-SAW 様と弊社が連携することで、お客様のクラウド利用に対する不安を低減し、クラウド活用を推進できるものと期待しております。

## ■その他

- ・サイバーリスク保険について <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/baiseki/cyber/>
- ・マネージドクラウドについて <https://ops.jig-saw.com/service/cloud/>

## ■東京海上日動火災保険株式会社

会社名：東京海上日動火災保険株式会社

資本金：1,019 億円

所在地：東京都千代田区丸の内1丁目2番1号

取締役社長：北沢 利文

設立：1879年8月



**東京海上日動**

## ■JIG-SAW 株式会社

会社名：JIG-SAW 株式会社(URL：<https://www.jig-saw.com/>)

証券コード：3914

所在地：東京本社/東京都千代田区大手町1丁目9番2号-18F

札幌本店/北海道札幌市北区北8条西3丁目32番-7F

SCC およびサテライトオフィス、A&A ラボ/札幌市内

代表者：代表取締役 山川 真考

設立：2001年11月

# JIG-SAW

【本件お問い合わせ先】

JIG-SAW 株式会社(JIG-SAW INC.)

経営管理本部 広報担当

TEL:03-6635-6657